

令和7年度市民活動助成金二次募集1次審査要旨録

日	時	令和7年6月9日(月)10:00~12:00
場	所	市民交流センター
出席者(敬称略)	日本福祉大学 特任教授 千頭 聡 NPO法人 ぱれっと 副理事長 戸田 愛 一般社団法人SDGs design 代表理事 曾根 香奈子 企画部 部長 大木 康敬 企画部市民協働課 課長 渡辺 富之	
事務局	市民協働課 主幹 竹内 雅香子 市民協働課 主査 天野 利紀 市民協働課 竹内 明日香	

主幹 本日はご多用の中お集まりいただきましてありがとうございます。市民活動助成金審査会の2次募集の第一次審査会を始めさせていただきます。

事務局 事務局でもヒアリングを行っておりますので申請事業について若干補足説明をさせていただきます。補足説明後に事業の中身について事業計画書等だけではわからなかったことや、申請団体にのちのち確認したいことなどをご質問いただけたらと思います。事務局で答えられることはお答えさせていただいて、団体に確認しなければならないことは、1次審査を通過した団体に対して、2次審査の質疑応答による審査で回答するように伝えたいと思います。

特に2次審査では、団体からの事業内容やPRをしていただくのではなく、質疑を中心に行いますので、この1次審査では団体に確認する必要があることなどを中心に議論を進めていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

1. 1次(書類)審査

(1) はじめの一步1「成岩第三区神子舞保存会」

事務局 成岩第三区神子舞保存会は地域の貴重な伝統文化である神子舞の保存と継承

を目的とした取り組みです。少子高齢化による後継者不足や伝承の断絶が懸念される中、神子舞を次世代へと引き継ぐため、技術や口伝によって伝わっていた内容などを動画で記録し、学びやすい環境を整備します。また保存会メンバー全員が絆を共有することで地域住民の団結を深め、郷土愛を育む活動も行っていきます。この事業を通じて神子舞を地域住民間で共有し世代間交流を促進するとともに、地域の活性化を目指すような事業となります。

委員 事業内容の動画制作ですが、こちらはどのように成果物を展開していくのか教えて欲しいです。

委員 どのレベルの動画クオリティで計画されているのか伺いたいです。

委員 会費等もしっかり検討されているのかどうかは伺いたいです。

委員 申請事業の予算書と団体の予算書がイコールであるならば、助成金がもし取れなかったらどうしますかという質問もせざるを得ないと思います。

（２）はじめの一步２「雅楽と書道の会」

事務局 雅楽と書道の会は、日本の伝統文化である雅楽と書道の認知を広め、次世代に継承することを目的とした事業申請です。昨年 10 月から団体活動開始、今年の 1 月に半田赤レンガ建物で初めての演奏会を実施しました。今回は亀崎公民館で雅楽演奏や書道パフォーマンスの発表会を開催し、書道作品の展示も行います。発表会周知のためのチラシ作成が既に済んでおりまして、チラシ作成にかかった経費は助成対象経費に含まれていません。この取り組みを通じて、文化の継承と地域活性化に貢献することを目指す活動です。

委員 講師謝金は、13 日にやるイベントに必要なのか、そこまでにやる練習等で必要なのか、確認させてください。

委員 100 名の方を集めると書いてあるので、いかに広報するのか、子供たちも含めて広報はどんなふうにされますかというのは事前質問に入りたいです。

委員 申請書だけでは発展性がある活動をしていくつもりなのか、ちょっとわかりづらいので、そのあたりを直接伺いたいです。

(3) はじめの一步3「愛知に学びの場を拡げる会」

事務局 愛知に学びの場を拡げる会は、知的障がいや発達障がいのある青年たちの18歳以降の学びの場の必要性を広く知っていただくための講演会事業です。高等部卒業後は就労が一般的な進路となりますが、つまりきやすいというような現状があり、社会に出る準備期間としての学びの場がもっと必要とされています。計画している講演会では長年福祉型カレッジを運営されている方を講師に迎え、学びの可能性や成果について講演をいただく予定をしております。対象は保護者や福祉関係者で、参加費は無料です。既にこちらで講演会のチラシを作成し資料の下から2枚目に添付させていただいております。チラシ作成にかかった費用は助成対象経費に含まれていません。この事業を通じて青年たちの新たな選択肢を考え、地域の学びの場を拡げる第一歩としていきたいという事業となります。

委員 実際のメンバーもそういう学びの場を運営しているということはないですか。既存の学びの場と繋がる方がいて、ノウハウを教えてもらいながらやっていくという考えがあるのか聞いてみたいです。

委員 講演会を実施していくのに、やっぱり広報はどうやるのかというのが気になるのと、どこまでの範囲で案内を呼びかけるのかは詳しく聞いておきたいですね。

委員 会として将来どういうことを目指したいのか。行政との関わりとか、その講演会についてもどこまでの発展をこの会として目指すのか、みたいな部分を聞いてほしいと思います。

(4) ステップアップ部門1「半田青色申告会」

事務局 半田青色申告会の事業は子育て中の女性、高齢者、障がいのある方など多様な背景を持つ方々の働き方を支援し、地域全体の経済活動を活性化することを目的としています。これまでも企業や個人事業に関する相談は少なからず受けてきておりますが、今年度より専用の多目的相談ブースを新設し、新たに力を入れる取り組みとして事業申請がありました。多くの方が挑戦できる環境を整備し、地域社会の持続可能な発展に寄与することを目指した事業となります。

委員 事業目的等に子育て中の女性、高齢者、障がいのある方と書いていただいているので、ここにどうアプローチするかというのはぜひともお聞きして、そこを頑張っていただいたら意味があるような気がしますね。

委員 子育て中の女性、高齢者、障がい者と申請書には書いてあるので、これをどう本当にやるのですかというのは確かめたいなと思いました。

委員 事業計画書に書いてあることをどれだけ本当にやろうとしているのか、そのためにどんな工夫をしようとしているのか、アプローチをしようとしているのかを聞く必要があると思います。

2. 審査結果発表

審査結果 評価合計点数が評価基準点を満たした5団体を採択

<はじめの一步部門>

- ・成岩第三区神子舞保存会
- ・雅楽と書道の会
- ・愛知に学びの場を拡げる会

<ステップアップ部門>

- ・半田青色申告会

<コラボレーション部門>

※M. I. M (1次審査会後申請取下げ)

3. その他

チャレンジ部門「共育ネットはんだ」(事前質疑の取りまとめ)

事務局 共育ネットはんだは、親子が自然豊かな環境で心身を癒しながら農業や食について学べるホッとステーションを実施する取り組みです。2回目の申請になります。子育て中の親子や発達に支援が必要な子供たちにとって安心して過ごせる居場所を作り、ストレス緩和や心身の健康促進を目指します。昨年度も事業を工夫しながら実施し、多くの好評をいただいた事業です。今年度は特別支援学校を卒業した社会人が、運営ボランティアとして参加することで、より幅広い世代が交流できる場を目指して事業を行っていきます。また農業体験やワークショップなどを通じて食育や地域農業への関心を高めると

ともに、参加者がほっとできる空間作りを目指していくような事業です。子育て相談課が広報等を含めて企画立案から一緒になってやっていただけるということで、子育て相談課から協働確認書はもらっております。

委員 民間も、行政も含めていろいろな団体があると思うのですが、どういうつながりや関わりの中で事業をされているのか、教えてもらいたいです。

委員 去年の事業で子供たちの反応とか、保護者の方の反応とか、どんな様子だったか直接聞いてみたいです。

委員 この事業をやっていくにあたっての課題みたいなものを共有したいなと思います。課題によっては、お金をかけずにできることが実はいっぱいあり、アドバイスできるのではないかなと思います。課題があった場合に、うまくいくように何か手助けしたりできる仕組みができるといいですね。

委員 夏も作業されそうですね。安全管理というか熱中症管理も含めて対策を取っておられますねという確認はしておいた方がいいかもしれないですね。

以上

4. おわりに

主幹 審査へのご協力ありがとうございました。2次審査ではまたよろしくお願いします。